

できないことは、証明できない？

入学・進級おめでとうございます。今年度は、小学部5名、中学部4名、高等部5名の新生を迎え、全校児童生徒59名でのスタートです。今年度の訪問学級在籍児童生徒は、小学部5名、中学部1名、の計6名となり、教員が自宅にお伺いして学習を行います。59名全ての子どもたちを中心に据えて、保護者の皆様としっかり連携を図りながら、お子さんの成長を支えていきたいと思っております。

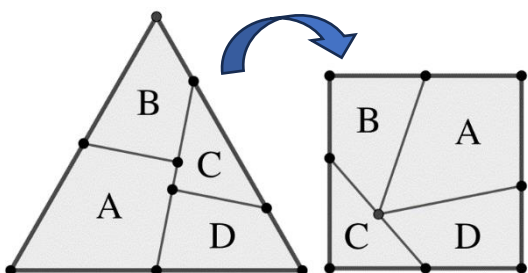
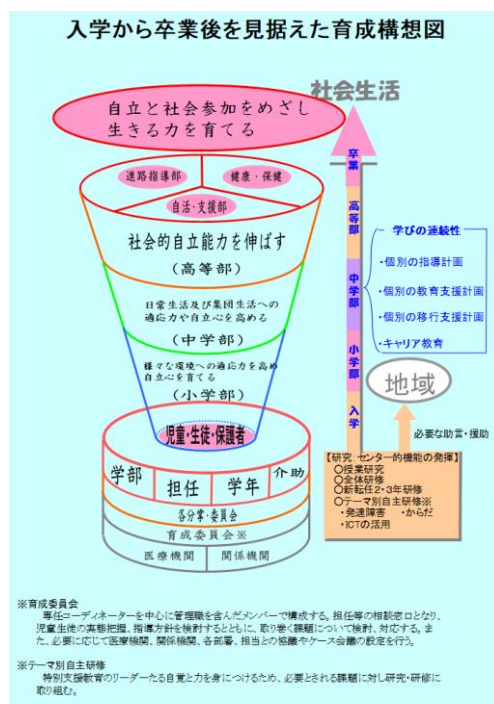
学校教育目標

「自立と社会参加をめざし、
生きる力を育てる」

この教育目標を達成するために次の4つの目標を掲げています。

- ア 健康の維持推進を図ると共に、生活のリズムをつける。
- イ 豊かなコミュニケーション能力と自尊感情を育てる。
- ウ 自己選択・自己決定に基づき、自立心を育てる。
- エ 共に助け合い、共感する態度を育てる。

本校では、右にあります『育成構想図』を作成し、入学から卒業までの一貫した教育ができるよう、それぞれの学年学部や担当で連携を密に図りながら、日々の教育活動を進めています。



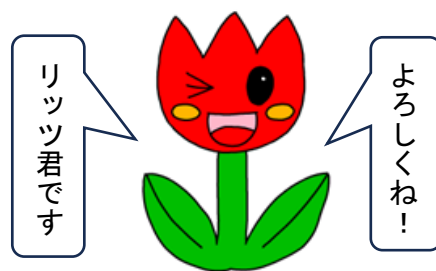
先月、日米の数学者3人が、120年以上謎だった難解パズルを解明したとの発表がありました。証明したのは、「正三角形を3ピースに分解して、裏返さずに並べ直して正方形を作ることは不可能」という定理です。

上図のように、正三角形をA B C Dの4ピースに切り分けて正方形を作ることは可能です。3ピース以下で切り分ける解は存在するかという問いに、この度、存在しないということが証明されたのです。

今回のような「ないことの証明」のことを、「悪魔の証明」と言うことがあります。証明することが不可能か非常に困難だからです。「あることの証明」は実際に事例を見つければ事足ります。しかし、ないことを証明するためには、すべての可能性を潰さなければなりません。例えば「U F Oは存在しない」ということは今後、出現する可能性がゼロではないので、証明できないのです。

新年度が始まりました。新しい学部学年で戸惑うこともあるでしょう。学習の中で最初はできないこともあるでしょう。しかし「できない」ことは証明できないのです。可能性を信じて様々なことに挑戦し、「できる」ことを証明する1年にしたいですね。

あまよう マスコットキャラクター



リッツ君 実在するかも 知れませんが
(校長 河合 康一)

☆教職員の異動について

転 出	転 入
	復 帰

☆お知らせとお願い

* 教職員について

昨年度小学部の 先生が3月末から休暇に入っています。後任は4月1日より着任しています。
 昨年度小学部の 先生が4月上旬から休暇に入ります。後任は4月1日より着任しています。
 本年度は、新規採用教員はいませんので、昨年度まで初任者指導でお世話になっていました、
 先生と 先生は、本年度の本校への着任はありません。

* クラス分けについて

今年度のクラス分けは、小学部低学年(1、2年)、小学部中学年(3、4年)、小学部高学年(5、6年)、
 中学部1、2年、中学部3年、高等部1、2年、高等部3年の全7クラスで活動していきます。

* 複数担任制について

一人ひとりの子どもが活躍できる手だてを複数名の教師がチームとして取り組んでいくため、複数
 (グループ)担任制で教育活動を行っていきます。保護者の皆様の相談や依頼に対しても複数で
 対応していきますので、どの教員に連絡いただいても対応できるように、校内で情報共有を図って
 まいります。(昨年度までのように、窓口となる担当を一人に絞って対応することはありません。)

* 勤務時間等について

本校教職員の勤務時間は8時30分～17時00分となっています。また、毎週水曜日は『定時退勤
 日』として、全教職員が定時に退勤することにしています。勤務時間外は対応できないことありま
 すが、ご理解の程よろしくお願いします。

また、学校への電話連絡については、平日の午前7時30分から午後5時(緊急の場合は午後6
 時)の時間帯にお願いします。平日の午後6時～翌朝7時30分、休日は終日、自動音声応答サー
 ビスを導入し、自動音声による対応となっています。